

厚生労働省電子政府構築計画（抜粋）

（平成15年7月17日 CIO連絡会議決定）

レガシーシステム見直しのための厚生労働省行動計画(アクション・プログラム)

1. 見直しの対象とするレガシーシステム

- 労災行政情報管理システム
- 労働基準行政情報システム
- 労働保険適用徴収システム
- 総合的雇用情報システム
- 雇用保険トータル・システム
- 社会保険オンラインシステム
 - ・社会保険オンラインシステム
 - ・年金相談に関するシステム
 - ・基礎年金番号管理システム
 - ・年金給付の裁定及び支払等に関するシステム
 - ・年金給付システム

2. 各レガシーシステムの見直しに向けた作業

レガシーシステムの見直しに向けた作業として、レガシーシステム刷新可能性調査の実施、最適化計画の策定及びこれらを踏まえた新システムへの移行について計画的に進める。

(1) レガシーシステム刷新可能性調査の実施

レガシーシステム刷新の可能性を判断するため、当該システムと関係のない外部専門家による業務分析、システム分析、評価を内容とした調査を実施する。

本調査は、(2)の最適化計画の策定のための予備的調査として位置付け、厚生労働省のレガシーシステムを新たなシステムに刷新した場合に、使用者（厚生労働省）及び利用者（国民等）の利便性を下げずに経費の総額（初期経費 + 運用経費 × 耐用年数）を下げるかどうか、について検討し、結論を得る。

本調査は、システムの安全性の確保、信頼性維持に配慮しつつ、主として効率性、経済性（経費面）の評価を中心に実施する。

() 効率性の評価のポイント

主にシステムの性能と資源を中心に把握調査。業務の要求に対するシステム側処理の合理性について評価

【評価の主なポイント】

システムにおける業務処理過程の合理性

- ・求められる業務処理内容に対して必要かつ十分な業務処理過程が実現されているか（過剰な業務処理過程が含まれていないか 等）

システム構成の合理性

- ・必要とされる業務処理過程及びデータ処理件数、データ量に対して必要かつ十分な性能を発揮できるシステム構成となっているか（メインフレーム、サーバ、ネットワーク、アプリケーション、データベース 等）

() 経済性の評価のポイント

必要な機器（ソフトウェアを含む。）の費用算定方法の妥当性、費用対効果、コスト削減の可能性について評価

【評価の主なポイント】

厚生労働省自らが機器を調達し運用するシステム

- ・開発・運用経費の算定方法の妥当性
 - ・競争入札に移行する場合の課題（随意契約で行われている場合）等
- データ通信役務サービスを利用するシステム
- ・データ通信役務サービス使用料の算定方法の妥当性
 - ・データ通信役務サービス以外の方式に移行する場合の課題 等

本調査結果は、厚生労働省のホームページ等を通じて公表する。

(2) 最適化計画の策定

レガシーシステム刷新可能性調査の結果を踏まえ、システムの安全性の確保、信頼性維持に配慮しつつ、業務処理過程の見直し、業務・システムの将来像等からなる最適化計画を2005年度末（平成17年度末）までのできる限り早期に策定する。

レガシーシステムに係る最適化計画は、「業務・システム最適化計画策定指針（ガイドライン）」に則って策定作業を行う。

最適化計画の策定に当たっては、以下の点について検討し、結論を得ることとする。

- ・他の業務・システムに係る最適化計画と同様に、抜本的な業務改革（業務の効率化・合理化）を行うこと
- ・業務処理過程、データ連携等で密接に関連する他のシステムとの整合性を確保しつつ行うこと
- ・汎用パッケージソフトウェアの利用、オープンシステム化の可能性について検討するとともに、特に、以下の事項についての可能性を検討し、最適化計画に反映させること
 - ハードウェアとソフトウェアの個別提供化
 - 随意契約から競争入札への移行
 - データ通信役務サービス契約の見直し
 - 国庫債務負担行為の活用

(3) 最適化の実施

レガシーシステム刷新可能性調査、最適化計画を踏まえ、順次レガシーシステム及び関連業務の最適化を実施する。

3. 各レガシーシステムの見直しに係る取組のポイント

労災行政情報管理システム

- ・データ通信役務サービスの見直しを検討

労働基準行政情報システム

- ・同一システム内に機能別に異なるシステム開発業者の参入機会を与えるための検討（2003年（平成15年）4月～）
- ・機器使用料単価の大幅削減（2003年度（平成15年度））

労働保険適用徴収システム

- ・データ通信役務サービスの見直しを検討

雇用保険トータル・システム

- ・レガシーシステム刷新可能性調査の実施に当たっては外部有識者を交えた勉強会等の開催を予定
- ・データ通信役務サービスの見直しを検討

総合的雇用情報システム

- ・レガシーシステム刷新可能性調査の実施に当たっては外部有識者を交えた勉強会等の開催を予定

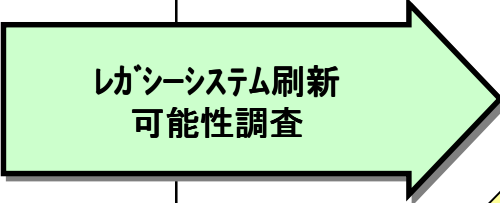
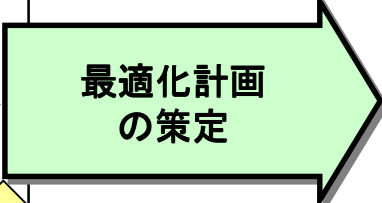
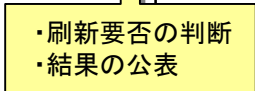
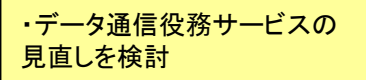
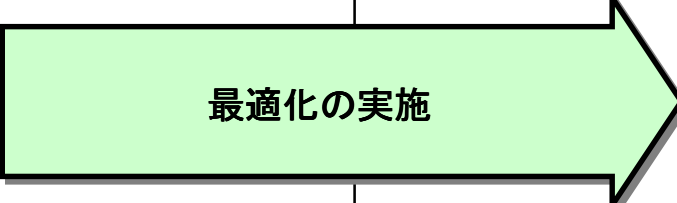
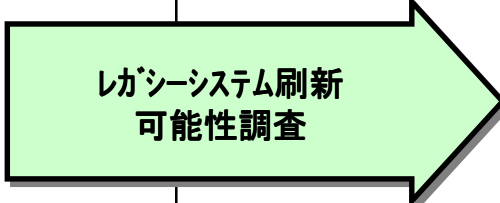
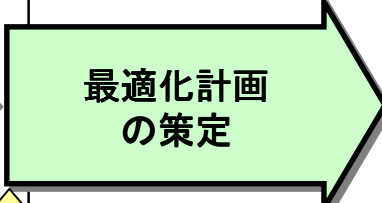
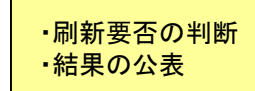
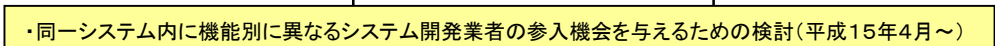
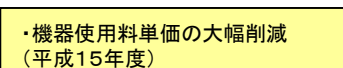
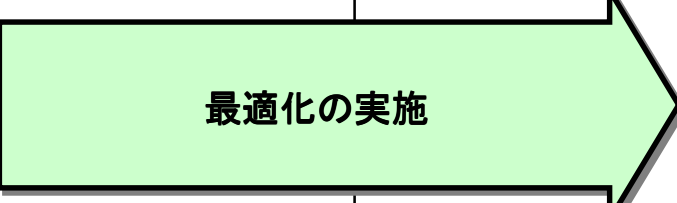
社会保険オンラインシステム

- ・レガシーシステム刷新可能性調査の実施に当たっては庁内に検討委員会を設置するほか、調査の公平性・透明性をより一層高めるため外部有識者による調査委員会を設置（2003年（平成15年）9月頃）
- ・最適化計画の策定に先立って、現行のシステム構成のもとでの一部オープン化の可能性及び調達方式の見直しの検討を行う
- ・データ通信役務サービスの見直しを検討

4. 全体予定表

別紙のとおり

「厚生労働省レガシーシステム見直し全体予定表」

システム名	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度～
1 労災行政情報管理システム			  		
2 労働基準行政情報システム			   		
3 労働保険適用徴収システム		